

# 合併は、国の思い通りは進んでいない

良夫 最近の佐賀新聞(3/20)に、「市町村合併」という論説がのっていたね。

太郎 合併が、全国的にも佐賀県内でも国の計画通りにはいっていないと言うことが書いてあった。今日は、佐賀新聞の論説を読みながら、考えてみよう。

## 「ある意味では当然の成り行き」---佐賀新聞の論説

良夫 佐賀新聞の論説には、こんなに書いてあるね。

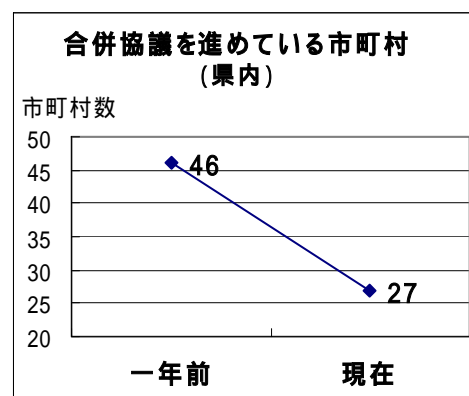
県内も一年前は46市町村が合併協議を進めていた。しかし、現在では27市町村に後退している。全国も似たり寄ったりの状況。3000をこえる市町村を1000程度に減らす国のもくろみは大きく外れ、2000程度に落ち着きそうな情勢という。新庁舎の位置や都市計画、主導権をめぐる対立などが決裂の原因になっている。機が熟した合併話といえないだけに、ある意味では当然の成り行きともいえる

太郎 全国で、2000程度の市町村の数に落ちつくということは、現在約2500ほどある全国の町村のうち、半分ほどは合併しないということになる。

良夫 そうなるとどうなるかね。

太郎 そこには、何百万から1千万人の国民が住んでいる。「合併しないから」といって、日干しにするなんてことは、実際にはできないということだよ。

良夫 そうだね。「国のムチ、合併しない町村が多ければこわくない」ということだね。



## 「早く合併しなければ不利になる」は本当か？

太郎 なぜ、こんなに合併が進まないのか、国は真剣に考え直すべきだね。今度の合併が自治体や住民の要求とは無関係に、国の都合で、権力的に進められているところに問題がある。ところが国は、反省するどころか、ますます権力的に合併をおしつけようとしている。もう、異常と言うより他はない。

良夫 「それだったら、早く合併しなければ不利になる」と言っている人もいるよ。

太郎 全国町村会、議長会を先頭に、国の合併押しつけに反対する抵抗が続いている。「合併しない」という町村が多ければ、無茶なことはできないよ。それに、地方交付税が減らされても、人件費削減などで支出を減らせば、合併しなくてもやっていける。

良夫 同じような話が、20年ほど前、リゾートのときもあったね。だけど、リゾートに飛びついたところは、今でも大きな借金がかかえてひどい目にあっている。ハウステンボスで大きな借金をつくった佐世保市、山茶花高原のリゾートで借金を作った小長井町がそうだ。太良はリゾートに飛びつかなくて良かったね。

太郎 今になってそれがいえる。合併も同じだ。一時は、合併の先進例といわれた兵庫県の篠山市は「低負担・高サービス」のうたい文句が吹っ飛んでしまった。合併特例債を使って、建設事業をいっぱいやったが、今では、借金でひどいと聞く。

良夫 前は、リゾートをあおって自然を破壊し、借金を残した。今度は、合併を押しつけて地域を破壊しようとしている。いったい誰が責任をとるんだ。国のやることはいつもこうだ。

太郎 太良町ができてから50年ほどになる。2~3年であわてて決めることはない。

## 古川知事には、「太良の選択を尊重する」と言って欲しい

良夫 佐賀県の古川知事は、県議会で「今後の県事業は、合併市町村を優先する」と発言したと新聞に載っていたけど。

太郎 市町村を援助するのが県の仕事だ。長野県の田中知事は、合併しないでがんばる町村も応援すると言っている。古川知事にも市町村の自主性を尊重して欲しいね。国の悪代官にはなって欲しくない。

良夫 太良町では、合併するか、太良町を残すかは、住民投票で決めることになっている。どういう結果になっても、「太良町民の選択を尊重する」と古川知事に言って欲しいね。

## 合併反対・太良町を残そう

No.16 2004.3.24

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

# 古川知事さん、桑原市長さん 太良の声を聞いて下さい

良夫 25日(木)夜、自然休養村管理センターで「市町村合併を考える対話集会」というのがあるね。古川知事や鹿島の桑原市長が来ることになっているよ。

太郎 太良町民の声を直接聞いてもらいたい機会だね。これまで、町の人から聞いたことを並べてみよう。

50年近く前、七浦と鹿島が合併したとき、伊福は分村して太良についた。その後、道路など生活環境整備やミカン作りの援助など、飯田と比べてみて本当に良かったと思っている。鹿島が力を入れているのは中心部の市街地だけでないか。太良が鹿島と合併したら、とり残されて、七浦みたいにさびれてしまうことははっきりしている。絶対に合併すべきでない。(伊福の男性)

農協が合併したあと、面倒なことは鹿島まで行かねばならず、決済が下りるのに今までの倍も時間がかかる。一般組合員には都合の悪いことばかりだ。鹿島と合併して、役場がなくなったら、(仮に支所をおいても)町民には、都合が悪くなることはわかっている。合併には反対だ。(農家の人)

大浦は50年前多良と合併しました。いろんな会合もみんな太良へ行かなければなりません。公共施設も多良中心です。鹿島と合併したら、南の端になって、ますます不便になります。これ以上不便になるのはごめんです。(大浦の50才台の女性)

鹿島の水道料は太良よりも6割も高い。(1ヶ月10リユベ使用の場合)。合併しても太良の水道料は上げないというがいつまで続くか保証はない。安くて、おいしい太良の水を飲みたいから、合併に反対。

(たくさんの方から聞きました)

上の子が生まれたときは鹿島にいました。2番目の子が生まれたときに太良にきていました。太良では個人宛にいろんな予防接種の案内をしてくれます。保健師さんが4人いて、顔なじみになり安心感があります。太良病院には小児科があって、夜中に電話してもよく見てもらえます。安心して子育てのできる町です。合併したら、安心感がなくなってしまうのではないかと心配です。太良町を残してください。

(30才台、子育て中の女性)

太良は、いろんな健康診査が無料で、よその人から「太良はいいね」といわれます。本当にありがたいです。合併したらいつまで続くか心配です。国民健康保険税も鹿島に比べて太良がうんと安いんです。合併しないでください。(40才台の女性)

「鹿島とは合併せんがよかよ」と鹿島の人が出ていました。合併して鹿島の借金をかつがされたり、負担がふえるのはごめんです。

(たくさんの方から聞きました)

太良の町づくりと合併問題を考えよう

## 講演と対話の集い

とき 4月11日(日)午後1時半より

ところ 自然休養村管理センターホール

入場無料

講師 石川隆文さん(元・福岡県大木町長)

主催 合併反対・太良町を残す町民協議会